

戸田市福祉関連施設再整備基本計画（案）についての

意見募集に対する回答

* 貴重なご意見ありがとうございました *

案 件 名 戸田市福祉関連施設再整備基本計画（案）について
意見募集期間 平成20年2月1日（金）～平成20年2月29日（金）

パブリックコメントとしてご意見を募集した結果、メールなどにより5名の方から10件のご意見をいただきました。いただいたご意見の内容と、それに対する市の考え方を次のとおり公表いたします。

【ご意見の概要とご意見に対する市の考え方】

	ご意見の概要	市からの回答（対応）
整備検討している全体の施設について		
1	福祉保健・障害者（児）施設とコミュニティセンターを福祉避難所として指定してもらいたい。	現在、福祉避難所は笹目コミュニティセンターを指定しておりますが、新たな指定につきまして、今後検討してまいります。
健康福祉の杜第2期整備事業（福祉保健施設・障害者（児）施設）について		
2	計画実施に当たって障害者団体等の意見を聞いてもらいたい。	<p>この計画が扱う施策の範囲は、福祉、保健、コミュニティなど広いものであり、また、利用対象者の年齢につきましても、乳幼児から高齢者までと幅広く考えております。</p> <p>そのため、この計画を策定するに当たりましては、各分野の計画や、施策を実施する担当課、また、支援団体の意見を聴いて検討してまいりました。</p> <p>障害者につきましては、障害福祉課の意見と、本年度に策定している戸田市障がい者計画を参考としておりますが、その計画の中で障害者へのアンケートや団体からの意見を聴いておりますので、それらをもとに計画を実施したいと思います。</p>

<p>3</p>	<p>福祉保健施設について 福祉保健機能</p> <p>○保健センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全世代に対し、健診・指導・相談・健康増進などの保健事業を実施 <p>(質問)</p> <p>① 早期療育システムとしての、早期発見、保護者の支援、療育支援等の早期発見機能を行うのか。</p> <p>② 医療体制の整備として、精神障害者の身体合併症への対応も行うのか。</p>	<p>福祉保健施設については、既存の施設である医療保健センターから保健部門の業務を移転するものです。現在の保健部門でも子どもの心身の健康や発育発達の問題の早期発見に努めており、早期の対応や保護者の支援、療育機関への紹介なども行っており、これらは、新施設においても実施していきます。</p> <p>また、今回計画している福祉保健施設は、医療機関として想定しておりません。</p>
<p>4</p>	<p>相談機能</p> <p>○障害者（児）の相談機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害種別によらず、障害者（児）が在宅で生活する上で生じる課題を、相談と支援・調整により解決を図る機能を持つ。 <p>(質問)</p> <p>① 発達関連事業の推進として、運動・発育・発達・子供相談を行うのか。</p> <p>② 早期発見体制の整備を行うのか。</p> <p>③ 障害者（児）の保護者の支援、療育支援を行うのか。</p> <p>④ 特別支援学校との連携を行うのか。</p> <p>⑤ 障害児を養育する保護者の不安除去（虐待防止）を行うのか。</p> <p>⑥ 精神保健相談を行うのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保健との連携により、障害者（児）が持つ課題の改善を図る <p>(質問)</p> <p>① 特別支援教育の充実として、幼稚園、小・中学校間の円滑な移行を確保するための個別支援を行うのか。</p> <p>② 精神保健の推進として、ソーシャルクラブや家族教室の実施を行うのか。</p> <p>③ 精神障害者に対する正しい理解の普及を行うのか。</p>	<p>新たに整備する福祉保健施設の中での相談機能では、広いライフステージにおける世代ごとに必要とされる保健を軸としつつ、福祉サービスも視野に入れた対応が必要となる相談を集約しようと考えております。</p> <p>相談は広範囲にわたると考えられますので、施設開設当初は、まず既存の業務を滞りなく開始することが優先すると考えております。</p> <p>障害者の相談機能として、現在実施している、障害者（児）の早期発見、運動・発育・発達・子供相談、保護者の支援・不安除去、療育支援など、発達関連の運動発達、発育発達等の相談事業は、継続して行っていく予定です。</p> <p>なお、精神障害者に対する正しい理解の普及については、市が通常業務の中で担うものと考えております。</p> <p>その他、障害者施策全般における新施設の役割につきましては、戸田市障がい者計画に沿って、新施設の機能としてふさわしいものを検討していきたいと思っております。</p>

5	<p>障害者（児）施設について</p> <p>(1) 障害者（児）支援機能について</p> <p>○上記以外の事業（事業者の提案による）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問介護、自立訓練、就労移行支援、共同生活介護、共同生活援助、児童デイサービス、レスパイト等、障害程度や地域移行への度合い、年齢などに対応したサービスを整備することで、障害者が地域で生活するための一連の流れを構築する <p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 訪問看護サービスは行うのか。 ② 地域活動支援センター事業を行うのか。 ③ 精神障害者の退院支援を行うのか。 	<p>障害者（児）施設については、民設民営の方向で考えており、整備する機能として短期入所（ショートステイ）と生活介護（日中活動）を基本的な柱としています。</p> <p>その他の機能としては、地域の状況・財政・運営などから必要と思われる機能を民間事業者から自由提案していただき、施設を整備してもらう考えです。</p> <p>このことから、基本とする機能以外の具体的な事業・サービスは、今後の民間事業者との協議により決めていきたいと考えています。</p>
上戸田ふれあい広場で検討する施設整備について		
6	<p>上戸田ふれあい広場整備基本計画について、地元住民と商店会と市役所との協議会を作り、検討することを望む。</p>	<p>上戸田ふれあい広場における整備計画は、現段階では一つの案であり、平成20年度から町会や商店会、近隣住民などを対象とした地元説明会を行い、共に進めて行きたいと考えています。</p> <p>その中で話し合いの場として、協議会形式がよいかどうかも検討していくこととします。</p>
7	<p>現在上戸田保育園に子供を通わせています。本計画案では、福祉センターとの合同施設のレイアウトや再整備の目的・手法等詳細に記載されていますが、市役所ならびに保育園からは一切保護者に対して説明がありませんでした。民営化に興味があり、自分で調べて初めて本計画案を知りました。他の保護者も民営化候補に上がっていることは知っていても、本計画までは知らない人が多く、そのような消極的な情報公開に困惑しております。</p> <p>民営化については良い点悪い点いろいろあると思いますが、必要最低限、保護者に対して情報公開の場を設けていただけないでしょうか。市役所へ問い合わせをしても</p>	<p>上戸田保育園を含む上戸田ふれあい広場へ整備する施設については、現段階で一つの案であり、具体的な整備を進めるにあたっては、平成20年度から地元説明会などの検討する場を設ける考えです。</p> <p>なお上戸田保育園の民営化等につきましては、市の方針を決定した後に、上戸田保育園の保護者の皆様に、お知らせします。</p>

	<p>‘まだ決定ではないので詳細は言えない’ とわれてしまいました。決定してからは保護者側の要望が却下されそうで不安を感じております。もっと積極的に、進んでいる計画についての情報開示をしていただきたいと思っております。</p> <p>また私自身は子供の精神面を第一に考えていただきたいので、十分な保育士の引継ぎ期間やコスト重視をせず経験重視での保育士の雇用（若くて経験の浅い保育士ばかりでは不安）等検討していただきたいと思っております。</p> <p>またこだまのような通常の民営化と違い、福祉センターという不特定多数の人の出入りが予想される施設との再整備ということで、セキュリティ・衛生面についても保護者に納得のいく説明をしていただきたいので、本格的に再整備案が決定したら、十分な移行期間を設け、保護者との間で協議（一方的な説明会ではなく）する場を設けていただきたくお願いいたします。</p>	
8	<p>上戸田ふれあい広場の再整備手法の第5案について、本町1丁目児童公園の代替地として、こどもの国の一部を都市公園とすることは可能であり、敷地が狭いのであれば、2階建も考えられることからすると、実現は可能と考える。</p> <p>また、保育園児の昼寝時間等を考えれば閑静な場所が最適であり、近くのこどもの国を利用することも可能になる。</p>	<p>上戸田保育園を含む上戸田ふれあい広場へ整備する施設については、現段階では一つの案であり、こどもの国の一部へ都市公園法の適用を移転させることが可能かどうかも併せ、平成20年度に様々な方を交えつつ、十分な検討を行っていきたいと考えております。</p>
9	<p>上戸田ふれあい広場の施設は、この地区の活性化の起爆剤でなければならず、交流都市の産直販売やアンテナショップ、カフェテラスを併設する憩いの場である図書館の設置が要望される。通りから施設内が見え、誰もが気軽に出入りできるものでなければならない。</p>	<p>上戸田ふれあい広場へ整備する施設につきましては、平成20年度から地元説明会などの話し合いの場を設けてまいります。その際に、施設に対するご意見として検討させていただきます。</p>

<p>10</p>	<p>市内商業の発展も考慮され既存商店の売り場ではなく、商売希望者に体験の場として、空き店舗対策のきっかけとした仕掛けを入れてはどうでしょうか。以下のようなものが考えられます。</p> <p>特に下記1. 2. 3. は商売をしてみたいと言う人々に対し実店舗を持つとする意欲や自身を養うための場所として「経験の場」を提供するものです。そのため一定期間を限度に体験とすることで多くの人に経験してもらうことが出来ます。また、実店舗を持つとき一定期間の家賃補助などの支援策をとれば商店街の空き店舗対策にもなります。また、下記と合わせて、既存商人の発送転換の場にするのも出来るのではないのでしょうか。単純に商業施設というと現在商売をしている人の為ではありません。この意味でも下記に触れますが、課を越えた連携が必要です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. チャレンジショップ 2. アンテナショップ 3. コミュニティカフェ 4. 独居老人・買い物弱者への支援 5. ふれあいサロン 6. 防災・防犯サロン 7. 市民活動支援コーナー <p>他にもあると思いますが、人が集える、にぎやかで楽しい場の提供を基本に考えていればどんな施設でも創設できるのではないのでしょうか。ともすれば、形を整え、物を作ることが目的となり、何のために整備するのかと言う部分が薄れ、施設と言う手段が目的化してしまうようです。もちろん施設を造る事が目的のこともあるとは思いますが。本質部分をしっかり把握し、造ったら終わりではなく造ってからが本番となるような施設を作ってほしいと思います。</p>	<p>上戸田ふれあい広場へ整備する施設では、ご指摘のとおり市内だけで無く、あらゆる角度からの連携が必要とされます。</p> <p>整備にあたっては、この施設の特徴などを考慮し、平成20年度から地元説明会などの話し合いの場を設けてまいります。その際に、施設に対するご意見として検討させていただきます。</p>
-----------	---	---

<p>横の連携。部を超えた担当課の横の連携が必要です。しかも、単なる協力ではなく発想を変えた目的達成のために、今までとは違った見方、組み合わせ、順番の考え方が必要です。各課の抱えている問題点を複合的に長期的に解決する仕掛けも有っていいと思います。</p> <p>例えば、経済振興課では、空き店舗対策や商業の活性化の問題があります。コミュニティ推進課には、地域コミュニティの活性化と地域協議会の問題。安心まちづくり課では、災害時に備えるにしても、地元若い力があるか。商店や会社地との地域連携による防犯など。教育委員会でも、子供の安全確保や子供の健全育成に地域協力の必要性があります。</p> <p>各担当の直接の取り組みだけでなくお互いに補完しあうための考え方も有ったほうがいいと思います。まちは複合的に絡み合っています。</p> <p>これから耐用年数、耐震強度などから施設の建て替えが出てくると思います。そのときに施設による特徴を出しながら創り上げて行くことも考えておいてほしいと思います。基本部分は同じでも総ての施設を同じにする必要は無いと思います。</p>	
---	--